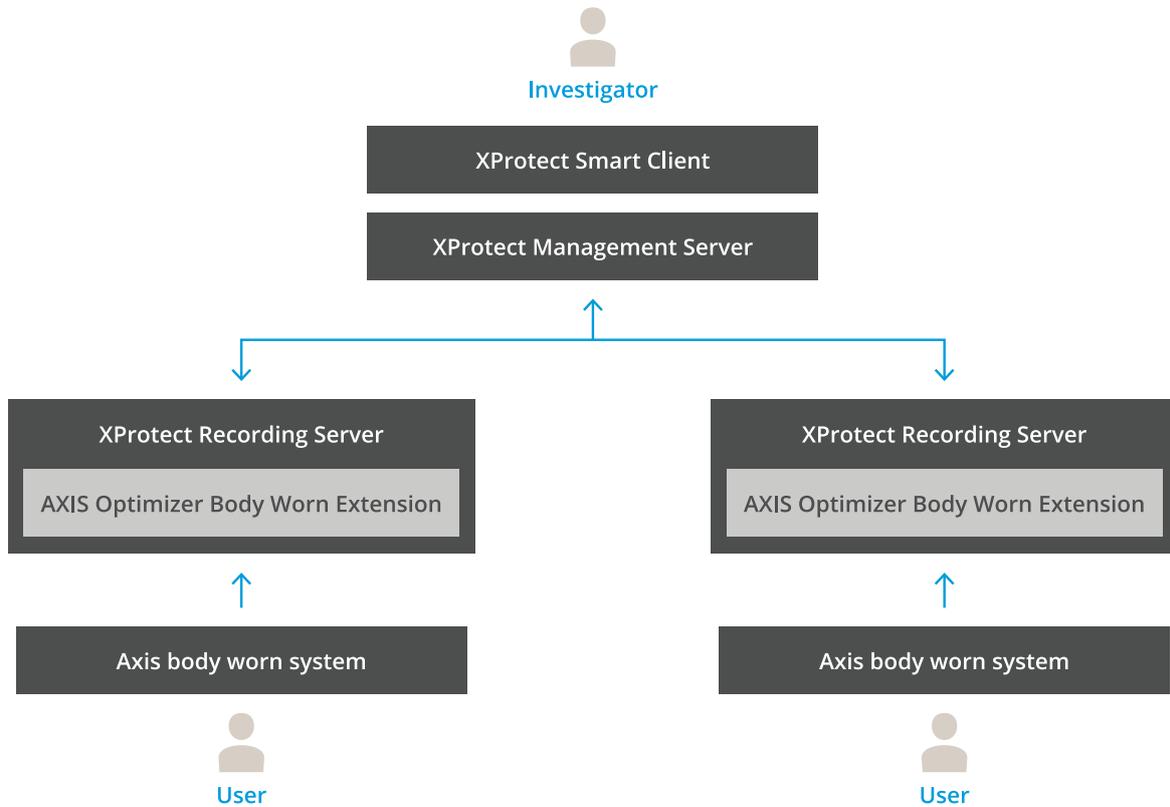


AXIS Optimizer Body Worn Extension

User manual

AXIS Optimizer Body Worn Extension

AXIS Optimizer Body Worn Extensionは、Axis装着式システムとMilestone^{XP}Protect[®]の接続を有効にするアプリケーションです。Axis装着式システムから転送されるデータには、ビデオ、音声、検索可能なロケーション、カテゴリ、メモが含まれます。



仕組み

Axis body wornソリューションは、少なくとも1台のAxis body wornカメラ、Axisドッキングステーション、Axisシステムコントローラ、コンテンツ送信先（この場合はMilestone^{XP}Protect[®]）で構成されます。このソリューションには、AXIS BodyWorn Live Self-hosted Serverデバイスを含めることもできます。AXIS BodyWorn Managerは、装着式システムを設定して管理するウェブアプリケーションです。

Axis装着式システムに新しいユーザーを追加すると、新しいユーザーに対応する新しいハードウェアがXProtect[®]に作成されます。Axis装着式システムの各ユーザーは、XProtect[®]のライセンスをそれぞれ1つ使用します。

Axis body worn cameraをドッキングステーションに配置すると、録画の転送が自動的に開始されます。XProtect[®] Smart Clientで録画が表示されるには、しばらく時間がかかります。AXIS BodyWorn Managerでファイル転送のステータスを監視することができます。

各録音の先頭にはブックマークがあります。XProtect[®]に表示されるブックマークには、次の情報が含まれています。

- カメラ名
- アクティブにする方法（たとえば、ボタンを使用して録画を開始した場合や、落下検知によって開始された場合）
- 位置データ
- AXIS Body Worn Assistantで作成されたカテゴリとメモの注釈

システムモード

AXIS Optimizer Body Worn Extensionでは、Milestone XProtect®との接続を設定する際に、2つのシステムモードから選択できます。

ユーザー中心のシステムモード (推奨)

- Milestone XProtectでの各ハードウェア装置は装着式ユーザーを表します。
- 装着式システムの1ユーザーがMilestone XProtectでの1ライセンスになります。
- ユーザーレベルで権限を制御します。
- ユーザーに基づいて録画を検索します。
- Milestone XProtectでの構造に影響を与えることなく、装着式システム内の装着式カメラを追加、削除、または交換します。
- 装着式ユーザーを置き換えると、Milestone XProtectで新しいハードウェア装置になります。

装置中心のシステムモード

- Milestone XProtectでの各ハードウェア装置は装着式カメラを表します。
- 装着式システム内のカメラ1台がMilestone XProtectでの1ライセンスになります。
- カメラレベルで権限を制御します。
- メタデータやブックマークから録画に関連するユーザー情報を検索します。
- Milestone XProtectでの構造に影響を与えることなく、装着式ユーザーを追加または削除します。
- 装着式カメラを置き換えると、Milestone XProtectで新しいハードウェア装置になります。

注

システムを移行する場合は、現在使用している同じシステムモードを選択してください。

システム要件

- Milestone XProtect® 2020 R1 Corporate または新しいバージョン、または
- Milestone XProtect® 2020 R1 Professional + または新しいバージョン、または
- Milestone XProtect® 2020 R1 Expert または新しいバージョン
- Siemens Siveillance® 2020 R1 Video Pro、または
- Siemens Siveillance® 2020 R1 Video Advanced、または
- Siemens Siveillance® 2020 R1 Video Core Plus
- 10 GB以上の空きディスク容量。

重要

最新の XProtect ホットフィックスおよび累積パッチ インストーラーを必ず使用してください。

使用に当たって

1. .
2. .
3. .

AXIS Optimizer Body Worn Extension のインストール

1. Milestone XProtect® 録画サーバーを起動し、AxisOptimizerBodyWornExtensionSetup.exe を実行します。
2. セットアップウィザードの手順に従います。

注

- ポート 55771 で受信トラフィックを許可するため、インストール中にファイアウォールルールが録画サーバーに追加されます。
- インストール中に XProtect 録画サービスが再起動されます。

接続を設定する

1. タスクバーのアプリケーションアイコンを右クリックします。
2. **Open connection setup (接続設定を開く)** を選択します。
3. システムモードを選択します。詳細については、[こちら](#)を参照してください。後でシステムモードを変更する場合は、システム全体のリセットが必要です。
4. Milestone XProtect® Management Serverのアドレスを入力します。
5. Milestone XProtect® の管理者アカウント認証情報を入力します。

注

Axis装着式システムとの接続を設定する際には、別のXProtect®管理者アカウントを使用することをお勧めします。

6. **Login (ログイン)** をクリックします。
7. コンピューターにインストールされている **Certificate (証明書)** を選択します。または、**Create a self-signed certificate (自己署名証明書を作成する)** をクリックして、これを選択します。

注

- Axis装着式システムとの通信を保護するサーバー証明書を設定する必要があります。選択した証明書には、録画サーバーを識別する DNS 名または IP アドレスを含む、SAN (サブジェクト代替名) フィールドが含まれている必要があります。
- Windows Server 2012 R2を使用している場合は、手動で証明書を作成する必要があります。
- 8. **Create connection file (接続ファイルの作成)** をクリックします。

重要

- 接続ファイルには、データを自分のMilestone XProtect® システムにプッシュすることができている情報が含まれています。接続ファイルは安全な場所に保管することをお勧めします。または、Axis装着式システムとマイルストーンXProtect®間の接続を設定した後、接続ファイルを恒久的に削除します。
- Axis装着式システムとマイルストーンXProtect®の間に安定した接続を維持するには、Milestone XProtect®録画サーバーのDNS名を使用することをお勧めします。

Axis body worn systemに接続します

注

Axis body worn systemには、最新のファームウェアを使用してください。

1. Webブラウザを使用して、Axis body worn systemにアクセスします。
2. セットアップウィザードの手順に従います。
3. **コンテンツ送信先** ステップで、AXIS Optimizer Body Worn Extension によって生成された接続ファイルをアップロードします。

Axis body worn systemの設定と使用の詳細については、*Axis body worn*ソリューションヘルプセンターを参照してください。

システムの設定

保存期間

Milestone XProtect® で保存期間を変更する

録画が失われないようにするには、XProtect® で保存期間の値を大きくすることをお勧めします。

デフォルトの保存期間 7 日を使用すると、装着式カメラから XProtect® にアップロードされた録画は 7 日を経過するとすべて完全に削除されます。

カテゴリによる保存期間の制御

AXIS Body Worn Assistant (分類と注釈を記録するためのモバイルアプリケーション) で、ビデオのカテゴリを追加できます。AXIS Optimizer Body Worn Extension で、カテゴリの保存期間を指定できます。これにより、Milestone XProtect® Smart Client のカテゴリに関する [Evidence Lock (証拠ロック)] が生成されます。

カテゴリの保存期間を設定するには:

1. タスクバーのアプリケーションアイコン  を右クリックします。
2. [Settings (設定)] を選択します。
3. 既存のカテゴリの [Retention time (days) (保持期間 (日))] を入力するか、または
4. [+] をクリックして新しいカテゴリを追加し、ドロップダウンからカテゴリを選択して、追加したカテゴリの [Retention time (days) (保存期間 (日))] を入力します。

注

- 保存期間は、録画が作成されてから自動的に削除されるまでの期間です。
- AXIS Optimizer Body Worn Extension で設定された保存期間により、最短保存期間が保証されます。XProtect® の録画サーバーまたは装置のストレージ設定で、より高い値に設定している場合は、より長くなる場合があります。
- 保持期間 (日数) を <デフォルト> に設定したままにすると、証拠ロック は作成されません。
- 保存期間の設定には証拠ロックのサポートが必要です。これは、XProtect® Corporate and Siveillance® Video Pro でのみサポートされます。この設定は他の製品には使用できません。

AXIS Body Worn Liveセルフホストに接続する

開始する前に

開始するの手順に従って、AXIS Body Worn Liveセルフホストをセットアップし、装着式システムに接続します。

1. タスクバーのアプリケーションアイコン  を右クリックします。
2. Open connection setup (接続設定を開く) を選択します。
3. AXIS Body Worn Liveセルフホストサーバー で、Liveセルフホストサーバーデバイスのアドレス、ユーザー名、パスワードを入力します。
4. [接続] をクリックします。

ライブストリームの録画

ライブストリームを録画すると、カメラがドッキングされて録画がアップロードされるまで待たずに、すぐに録画にアクセスできます。ライブストリームを常に録画するルールを設定することをお勧めします。

ライブストリームの開始時にイベントをトリガーする

ライブストリームの開始を定義済みイベントとしてルールまたはアラーム定義を作成するには:

1. 管理クライアントで、**サイトナビゲーション>録画サーバー** に移動し、カメラを選択します。
2. **イベント**タブに移動します。
3. **[追加]** をクリックします。
4. **ライブストリーム開始**を選択します。
5. **[OK]** をクリックします。

注

ルールを作成しようとしたときにライブストリームが開始されましたが表示されない場合は、Milestone XProtect® のハードウェアに対してハードウェアが更新されました操作を実行することができます。

破損した録画を自動的にオフロードする

カメラに問題があり、録画のタイムスタンプが破損している場合は、ファイルを Milestone XProtect® にオフロードすることが困難になることがあります。このような録画を録画サーバー上のフォルダーに自動的にオフロードするようにシステムを設定できます。ファイルがフォルダーにオフロードされるたびに、VMSでアラームが発生します。

破損した録画の自動オフロードを設定するには、次の通りにします。

1. タスクバーのアプリケーションアイコン  を右クリックします。
2. **[Settings (設定)]** を選択します。
3. **[Corrupt recordings (破損した録画)]** で、**[Automatically offload corrupt recordings (破損した録画を自動的にオフロード)]** をオンにします。
4. ファイルを保存する場所を選択します。
5. ファイルを保存する日数を選択します。

メンテナンス

システムからユーザーを削除する

1. AXIS Body Worn Manager でユーザーを削除します。

注

ユーザー デバイスが XProtect で無効になり、チャンネルライセンスがリリースされます。ユーザーが録画を表示することはできなくなりますが、録画はそのまま残ります。これらにアクセスするには、デバイスを有効にします。

2. ユーザーが作成した録画が不要になった場合は、デバイスを XProtect® で削除してください。

重要

XProtect®で有効になっているデバイスは絶対に削除しないでください。必ず最初にAXIS Body Worn Managerから削除してください。

新しい自己署名証明書の作成

新しい自己署名証明書の作成します。

1. タスクバーのアプリケーションアイコンを右クリックします。
2. **Open connection setup (接続設定を開く)** を選択します。
3. 現在の証明書で、**[証明書のバインド✕をリセットする]** をクリックします。
4. **[Remove current self-signed certificate (現在の自己署名証明書の削除)]** をクリックします。
5. **[Create a new self-signed certificate (新しい自己署名証明書の作成)]** をクリックします。
6. 新しい証明書を選択する。

新しいサーバーへの移行

1. 装着式システムからユーザーをエクスポートするには、ユーザーのエクスポートを参照してください。
2. 古いサーバーと同じシステムモードを使用して、新しいMilestone XProtect録画サーバーにAXIS Optimizer Body Worn Extensionをインストールします。詳細については、を参照してください。
3. カメラハードウェアオブジェクトを古いMilestone録画サーバーから新しいMilestone録画サーバーに移動します。
4. 新しいMilestone XProtect録画サーバーで新しい接続ファイルを作成するには、を参照してください。
5. AXIS Body Worn Managerで装着式システムに接続ファイルをアップロードします。

トラブルシューティング

タスクバー アイコンが赤色に変わり、問題が発生したことを示します。タスクバーアイコンを右クリックし、**Show error information (エラー情報を表示)** を選択すると、問題の詳細が表示されます。

課題	現象	問題の原因と対処法
Axis system controllerに接続できません	Axis system controllerのWebインターフェースに「接続に失敗しました」が表示されます。	<ul style="list-style-type: none"> タスクバー アイコンをチェックして、AXIS Optimizer Body Worn Extension が実行されていることを確認してください。 PCがAxis system controllerから到達可能であり、ポート 55771でトラフィックをブロックしているファイアウォールが存在しないことを確認してください
録画の転送エラー	<ul style="list-style-type: none"> Milestone XProtectのアラームに「録画転送エラー」と表示されます。 タスクバー アイコンが、何かが動作していないことを示しています。 Smart Client で、録画またはブックマークが見つかりません。 	<ul style="list-style-type: none"> 録画が転送されるまでに時間がかかる場合があります。アラームがない場合は、待ちます。 XProtect Management Clientを開きます <ul style="list-style-type: none"> XProtect 録画サーバーが実行されていることを確認してください。 Axis body worn装置が動作し、有効になっていることを確認してください。 Axis body worn装置が有効なライセンスを持っていることを確認してください。
録画が不完全です	録画の一部が Smart Client にありません。	録画はチャンク単位で転送されますが、必ずしも時系列順ではありません。転送の最後のステップとして、録画の先頭にブックマークが作成されます。ブックマークが検出されない場合、転送がまだ完了していない可能性があります。転送が完了するまで待ちます。
録画が見つかりません	Smart Client でブックマークは表示されますが、録画はありません。	<ul style="list-style-type: none"> XProtect 録画サーバーの録画およびアーカイブ設定を確認してください。転送された録画が保存期間よりも古い場合、転送時に直接削除されます。 AXIS Optimizer Body Worn Extensionの [Settings (設定)] で、さまざまなカテゴリに設定された保存期間を確認してください。

課題	現象	問題の原因と対処法
		<ul style="list-style-type: none"> XProtect 録画サーバーで使用されているストレージの空き容量を確認します。ディスクの空き容量が 5 GB 未満の場合は、自動アーカイブが開始されます。これにより、保存期間やサイズに関わらず、録画が失われる可能性があります。
Milestone XProtect®で位置情報の検索結果はありません	バージョン1.0で追加されたユーザーの位置情報は検索できません。	バージョン1.1以上にアップグレードし、Body worn systemで新規にユーザーを作成します。
	Body worn systemで位置情報が有効になっていないため、GPS座標が、Milestone XProtect®のブックマーク上に表示されません。	位置情報を有効にして使用する方法については、 <i>Body worn solution</i> ユーザーマニュアルを参照してください。
Body worn systemとMilestone XProtect®の間の接続が失われました®	Milestone XProtect®録画サーバーのIPが変更されました。	<ol style="list-style-type: none"> Optimizer Body Worn Extensionに新しいWindows証明書を手動で作成して選択します、詳細については AXIS Optimizer Body Worn Extensionで新規の接続ファイルを作成します、詳細についてはを確認してください。 AXIS Body Worn Managerに新しい接続ファイルをアップロードします。

課題	現象	問題の原因と対処法
破損した録画が検出されました	Milestone XProtectのエラーメッセージに「破損した録画が検知されました」が表示されます。	破損した録画は、録画サーバー上の別のフォルダーに自動的にオフロードするようにシステムを設定します。手順については、を参照してください。
オリジナルライブ録画なし		<p>カメラをドッキングした後、録画がMilestoneにアップロードされると、オリジナルライブ録画はSmart Clientに表示されなくなります。オリジナルライブ録画を表示またはエクスポートする (Milestone^{XProtect}® 2023 R2 以降でのみ利用可能) :</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 管理クライアントで、サイトナビゲーション>録画サーバーにアクセスし、カメラを選択します。 2. ストリームタブに移動します。 3. エッジ録画を使用をクリアします。 4. 変更を有効にするには、Smart Clientを再起動します。 5. ライブ録画が不要になった場合、エッジ録画を使用を再度選択します。

注

問題を解決した後、録画が転送され、タスクバーアイコンが緑色になるまで時間がかかる場合があります。転送速度を上げるには、システムコントローラーを再起動します。

さらに支援が必要ですか？

サポートに問い合わせる

さらにサポートが必要な場合は、axis.com/support/にアクセスしてください。

簡単な対処法を見つけるには、ログを入力します。ログを取得するには:

1. タスクバーのアプリケーションアイコンを右クリックします。
2. **Save logs (ログを保存)** を選択します。

T10149228_ja

2025-02 (M9.2)

© 2020 – 2025 Axis Communications AB